

18

【養蚕】

## ばやしげひさはか 馬場重久の墓



- 場所 / 吉岡町北下329-1
- 交通 / JR群馬総社駅から車約15分  
関越自動車道駒寄PAスマートICから約10分
- 見学 / 墓参り可能
- 問 / 吉岡町生涯学習室 TEL 0279-54-3111

桃井荘（現吉岡町）に生まれた、江戸時代前期の農学者であり医者。若いころから蚕を細かく観察し、科学的に養蚕を研究しました。研究成果をまとめた『蚕養育手鑑』（1712年）は、民間の蚕書としては国内で最も古いものです。



21

【養蚕】

## わたなべけいじゅうたく 渡辺家住宅



- 場所 / 佐波郡玉村町大字福島
- 交通 / JR新町駅から車約15分  
北関東自動車道前橋南ICから約10分
- 見学 / 個人宅のため、非公開 門からの見学可
- 問 / 玉村町生涯学習課文化財室  
TEL 0270-30-6180

渡辺家住宅は赤い屋根が印象的な養蚕農家で、戦前まで蚕種（蚕の卵）の販売をしていました。高山社の影響を受け、様名型であったものを大正期に大改造し、小屋組みにはキングポストトラスを採用、屋根には換気用の3つの越屋根をのせています。



19

【養蚕】

## かいこじんじゃせきひ 蚕神社の石碑



- 場所 / 吉岡町北下1071-2
- 交通 / JR八木原駅から車約10分  
関越自動車道駒寄PAスマートICから約10分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 吉岡町生涯学習室 TEL 0279-54-3111

石碑には「正徳二年壬辰十一月三太夫重久建立」（1712）と刻まれています。この年は、馬場重久（1663～1735）が養蚕について解説した研究書「蚕養育手鑑」を完成した年であり、重久自身が建てた記念碑と考えられています。



22

【世界遺産】

国宝・国重要文化財・国史跡 【製糸】

## とみおかせいしじょう 富岡製糸場



- 場所 / 富岡市富岡1-1
- 交通 / 上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分  
上信越自動車道富岡ICから約10分
- 見学 / 休場日:12月29～31日、毎週水曜日（祝日の場合翌日）詳細はHP参照
- 料金 / 大人1,000円、高大学生250円、小中学生150円 詳細はHP参照
- 問 / 富岡製糸場 TEL 0274-64-0005

明治5年（1872）に明治政府が設立した官営の器械製糸場です。民営化後も一貫して製糸を行い、115年間使用されました。創業時の長さ100mを超える木骨煉瓦造の繭倉庫や繰糸場など主要な施設がほぼ完全に残されています。



20

【養蚕】

## わくむすびのかみせきひ 稚産霊神の石碑



- 場所 / 吉岡町陣場137-1
- 交通 / JR群馬総社駅から車約15分  
関越自動車道駒寄PAスマートICから約5分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 吉岡町生涯学習室 TEL 0279-54-3111

明治20年（1887）5月23日、吉岡町陣場が大電害に襲われました。桑の木も大被害を受け、蚕に与える桑の葉が無く、蚕を地中に埋めざるを得ませんでした。この石碑は、その時の蚕の霊を慰めるため、明治21年（1888）4月に建立されました。



## 23 富岡市重要文化財【流通】

### みょうぎじんじゃせいどうせいとうろう 妙義神社青銅製燈籠



妙義神社入り口の階段の  
手前に建つ総高4.35mで  
一对の青銅製の燈籠です。  
元治元年(1864)6月、「養  
蚕倍盛・商売繁盛」を祈願  
して諸国の糸繭商人、諸商  
人、養蚕家の人々など合計  
223人の寄進により建てら  
れました。

- 場所／富岡市妙義町妙義3
- 交通／JR信越線松井田駅から車約10分  
上信越自動車道松井田妙義ICから約5分
- 見学／随時見学可
- 問／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511



## 24 富岡市重要文化財【流通】

### ぬきさきじんじゃからがねせいとうろう 貫前神社唐銅製燈籠



貫前神社総門の前に建て  
られた高さ3.95mの一对  
の青銅製の燈籠で、慶応2  
年(1866)に、養蚕や生糸  
生産の繁栄興隆を願って建  
てられました。県内各地の  
養蚕農家や生糸商人、さら  
には東京や横浜の生糸・絹  
商人合計1,544人が献金し  
ました。

- 場所／富岡市一ノ宮1535
- 交通／上信電鉄上州一ノ宮駅から徒歩約10分  
上信越自動車道富岡ICから約10分
- 見学／随時見学可
- 問／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511



## 25 富岡市・下仁田町重要文化財【流通】

### きゆうこうずけてつどうかんれんしせつ おに さわきよりょう 旧上野鉄道関連施設 鬼ヶ沢橋梁



上野鉄道は軌道幅の狭  
い軽便鉄道で、明治30年  
(1897)に富岡や下仁田  
地域の繭や生糸、蚕種等  
の輸送のために建設され  
ました。鬼ヶ沢橋梁は長さ  
10m、幅1mの鉄橋で、国産  
の鉄橋としては最も古い時  
期のものです。

- 場所／富岡市南蛇井、下仁田町大字白山
- 交通／上信電鉄千平駅から徒歩約15分  
上信越自動車道下仁田ICから約10分
- 見学／見学困難
- 問／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511  
下仁田町歴史館TEL 0274-82-5345



## 26 富岡市史跡【製糸】

### とみおかせいしじょうこうじょう はか かいげんじ 富岡製糸場工女等の墓(海源寺)



官営工場時代に、全国か  
ら集まった工女たちの中  
には、故郷を離れての慣れ  
ない集団労働のため、若  
くして病に倒れ、この地で  
亡くなった人もいました。  
海源寺には明治6年～9年  
(1873～1876)に亡くな  
った工女・工男の3基の墓が  
あります。

- 場所／富岡市富岡150
- 交通／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分  
上信越自動車道富岡ICから約10分
- 見学／墓参り可能
- 問／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511



## 27 富岡市史跡【製糸】

### とみおかせいしじょうこうじょう はか りゅうこうじ 富岡製糸場工女等の墓(龍光寺)



官営工場時代に、全国か  
ら集まった工女たちの中  
には、故郷を離れての慣れ  
ない集団労働のため、若  
くして病に倒れ、この地で  
亡くなった人もいました。龍  
光寺には、明治7年(1874)  
から民営化後の明治34年  
(1901)までの工女の墓が  
あります。

- 場所／富岡市富岡1093
- 交通／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分  
上信越自動車道富岡ICから約10分
- 見学／墓参り可能
- 問／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511



## 28 世界遺産 国史跡【養蚕・教育】

### たかやましゃあと 高山社跡



中世からの旧家高山家に  
生まれた長五郎は、「清温  
育」という養蚕飼育法を確  
立し、この地に養蚕教育機  
関高山社を設立しました。  
今も残る主屋兼蚕室は、清  
温育のために工夫された  
構造で、高山社分教場とし  
て多くの生徒の実習に利用  
されました。

- 場所／藤岡市高山237
- 交通／JR群馬藤岡駅からバス約35分  
上信越自動車道藤岡ICから約20分
- 見学／休館日：12月28日～1月4日、団体は要予約
- 問／藤岡市文化財保護課 TEL 0274-23-5997



29

【養蚕】

## たかやまちょうごろう はか 高山長五郎の墓



高山長五郎は明治19年(1886)に56歳で亡くなりました。その墓は高山家の菩提寺である曹洞宗興禅院の最も奥に位置しています。興禅院は高山社跡から南西200mほど離れた高台にあり、高山社跡とその周辺の美しい景観が望めます。

- 場所 / 藤岡市高山288
- 交通 / JR群馬藤岡駅からバス約35分+徒歩約5分  
上信越自動車道藤岡ICから約20分
- 見学 / 墓参り可能
- 問 / 藤岡市文化財保護課 TEL 0274-23-5997



32

【養蚕・教育】

## まちだきくじろうせいいかたく 町田菊次郎生家宅



高山社二代目社長である町田菊次郎の家で、高山社の分教場としても活用されました。主屋に隣接する「桑場」と呼称する建物も残っており、内部の柱には当時の生徒が書いた落書きが残されています。

- 場所 / 藤岡市本郷
- 交通 / JR群馬藤岡駅から車約10分  
上信越自動車道藤岡ICから約15分
- 見学 / 個人宅のため、非公開 外観のみ見学可
- 問 / 藤岡市文化財保護課 TEL 0274-23-5997



30

【養蚕・教育】

## たかやまちょうごろうこうとくひ 高山長五郎功德碑



「養蚕改良高山社」を創始した高山長五郎の生前の功績を伝えるため、高山社社員はじめ全国24府県1,716名の寄附者により、明治24年(1891)に建てられました。諏訪神社境内には功德碑のほか、寄附者名を刻んだ石板や功德碑正門の門柱も残されています。

- 場所 / 藤岡市藤岡495(諏訪神社内)
- 交通 / JR群馬藤岡駅から徒歩約20分  
上信越自動車道藤岡ICから約15分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 諏訪神社 TEL 0274-22-0414



33

【流通】

## すわじんじゃじょうやとうおよ ちょうずいし 諏訪神社常夜燈及び手水石



江戸時代の藤岡は、絹商人の生絹の買い付け拠点として、県内随一の取引量を誇っていました。境内にある常夜燈と手水石は、当時月12回開かれていた藤岡の絹市で利益を得た呉服問屋の三井越後屋が感謝の思いを込めて奉納したものです。

- 場所 / 藤岡市藤岡495(諏訪神社内)
- 交通 / JR群馬藤岡駅から徒歩約20分  
上信越自動車道藤岡ICから約15分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 諏訪神社 TEL 0274-22-0414



31

【養蚕・教育】

## まちだきくじろうしょうとくひ 町田菊次郎頌徳碑



高山長五郎の遺志を継ぎ、明治19年(1886)に高山社二代目社長に就任した町田菊次郎を記念した碑です。菊次郎は内国勲業博覧会で受賞するなど高山社の名声を高めたほか、明治34年(1901)には甲種高山社蚕業学校を開校し、清温育を全国に普及させました。

- 場所 / 藤岡市藤岡495(諏訪神社内)
- 交通 / JR群馬藤岡駅から徒歩約20分  
上信越自動車道藤岡ICから約15分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 諏訪神社 TEL 0274-22-0414



34

【流通】

## すわじんじゃみやみこし 諏訪神社宮神輿



藤岡の絹市に出店していた絹商人のうち、呉服問屋の三井越後屋が感謝の思いを込め、安永9年(1780)に諏訪神社に雌雄2基の宮神輿を奉納しました。この宮神輿は毎年7月中旬に開催される「藤岡祭り」で渡御されます。

- 場所 / 藤岡市藤岡495(諏訪神社内)
- 交通 / JR群馬藤岡駅から徒歩約20分  
上信越自動車道藤岡ICから約15分
- 見学 / 通常非公開。毎年7月中旬に開催される「藤岡祭り」で渡御される。
- 問 / 諏訪神社 TEL 0274-22-0414



35

【養蚕】

ぬいじまけじゅうたく  
縫島家住宅



- 場所 / 藤岡市中
- 交通 / JR群馬藤岡駅から車約15分  
上信越自動車道藤岡ICから約5分
- 見学 / 個人宅のため、非公開 外観のみ見学可
- 問 / 藤岡市文化財保護課 TEL 0274-23-5997

高山社の社員で養蚕農家の塚越兵衛門が建て、高山社の分教場としても活用されました。屋根には高山社跡と同様の3つの越屋根が残っています。昭和10年(1935)に縫島家が購入した後も、引き続き養蚕が行われていました。



36

【養蚕】

ふくしまもとしちけんしょうひ ふくしまおう ひ  
福島元七顕彰碑(福島翁の碑)



- 場所 / 藤岡市藤岡1152
- 交通 / JR群馬藤岡駅から徒歩約10分  
上信越自動車道藤岡ICから約10分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 藤岡市文化財保護課 TEL 0274-23-5997

「福島式桑刻機」を発明した福島元七を称え、昭和4年(1929)に建てられました。高山社の清温育では、蚕の成長に合わせて、与える桑葉の大きさを変えていたため、桑葉を刻む作業は農家の負担でした。この桑刻機は好評を博し、朝鮮や中国でも販売されました。



37

【製糸】

じょうしゅうしんまちえきぼうせきじよほんぎ  
上州新町驛紡績所版木



- 場所 / 藤岡市白石1291-1(藤岡歴史館)
- 交通 / JR群馬藤岡駅から車約20分  
上信越自動車道藤岡ICから約15分
- 見学 / 企画展示時等に公開
- 問 / 藤岡市文化財保護課 TEL 0274-23-5997

明治10年(1877)に明治政府によって造られたくず蔦から糸を作る新町紡績所の、往時の外観を青、黄、黒、緑、灰、茶の6色刷りの錦絵にするための版木です。作者は石川徳太郎で、明治10年~17年(1877~1884)頃に作製。約24×34cmの板3枚の両面に図柄が彫られています。



38

国重要文化財 【流通】

うすいとうげてつどうしせつ  
碓氷峠鉄道施設



- 場所 / 安中市松井田町坂本
- 交通 / JR信越線横川駅から車約15分  
上信越自動車道松井田妙義ICから約25分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 安中市学習の森 TEL 027-382-7622

明治26年(1893)横川-軽井沢間に碓氷線が開通しました。急勾配をアプト式の登坂機構で克服し、当時の重要な輸出品であった生糸や繭等を運びました。レンガ造りのアーチ橋やトンネル、旧丸山変電所が残っています。



39

県重要文化財 【製糸】

きゅうすいしやほんしやじむしょ  
旧碓氷社本社事務所



- 場所 / 安中市原市2-10-16
- 交通 / JR信越線横川駅から車約10分  
上信越自動車道松井田妙義ICから約20分
- 見学 / 外観のみ見学可
- 問 / 安中市学習の森 TEL 027-382-7622

碓氷社は明治11年(1878)に農家が組合員となり組織した、県内初の組合製糸。仕上げの揚げ返しを共同で行い生産した生糸は、器械製糸に勝るとも劣らないものでした。明治38年(1905)建設の本社は、外観は和風で構造は洋式の建物です。



40

安中市重要文化財 【製糸】

うすいしやばんこくはくらんかいえいぶんひょうしょうじょう  
碓氷社万国博覧会英文表彰状



- 場所 / 安中市上間仁田951(学習の森ふさと学習館)
- 交通 / JR信越線安中駅から車約15分  
上信越自動車道富岡ICから約15分
- 見学 / 休館日:火曜、祝日の翌日、年末年始
- 料金 / 一般100円、企画展開催時は別料金
- 問 / 安中市学習の森 TEL 027-382-7622

碓氷社は自社製生糸の品質を国際的に認めてもらうため、海外の万国博覧会に積極的に出品しました。明治13年(1880)のメルボルン万博(オーストラリア)と、明治26年(1893)のシカゴ万博(アメリカ)で受賞した際の表彰状です。



## 41 市指定重要無形文化財(太々神楽)【養蚕】

さきさきじんじやほんでん つけたりまっしやきぬがさじんじや かぐらでん  
**咲前神社本殿 附末社絹笠神社・神楽殿・**  
 ねこいし だいだいかぐら  
**根子石・太々神楽**



- 場所 / 安中市鷺宮3308
- 交通 / 上信越自動車道富岡ICから 約20分  
JR信越線 安中駅から車約10分
- 見学 / 随時見学可(太々神楽は4月1日のみ)
- 問 / 咲前神社 TEL 027-381-2726

咲前神社は養蚕の守護神として古くから信仰され、神社の御札はネズミ除けとなり、「根子石」に小石を置き、願掛けすると豊蚕になるといわれています。春祭りでは「蚕安全之御祈禱」を行い、太々神楽を奉納。また、境内末社の絹笠神社から御分霊が碓氷社の一角にまつられています。



## 42 【養蚕】

きぬがさじんじやしゃでん つけたりそうさいちようひのひ  
**絹笠神社社殿 附霜災懲愆之碑**



- 場所 / 安中市原市2-10-14
- 交通 / JR信越線磯部駅から車約10分  
上信越自動車道松井田妙義ICから約20分
- 見学 / 外観のみ見学可
- 問 / 安中市学習の森 TEL 027-382-7622

絹笠神社は、蚕の神である絹笠明神を祭る神社で、明治27年(1894)に碓氷社本社敷地の一角を無償貸与されて建立されました。敷地内には、明治26年(1893)の大霜による被害の後に、反省(懲愆)を込め、常に霜害に用心するための警鐘とした「霜災懲愆之碑」が建立されています。



## 43 【養蚕】

うんもんじ めみようぼさつぞう  
**雲門寺の馬鳴菩薩像**



- 場所 / 安中市松井田町上増田624(雲門寺)
- 交通 / JR信越線松井田駅から車約30分  
上信越自動車道松井田妙義ICから約15分
- 見学 / 要予約
- 問 / 雲門寺 TEL 027-393-0335

馬鳴菩薩は、貧しい人々に衣服を施すとされる仏様です。雲門寺にある馬鳴菩薩は、天明7年(1787)に作られたものと言われ、古くから養蚕の豊作を願う地域の人々に信仰され、毎年4月には「豊蚕」を願う祭礼が行われてきました。一面六臂(顔面1つ、腕が6本)で白馬に跨り、桑や繭、養蚕道具等を手にしています。



## 44 世界遺産 国史跡【養蚕】

あらふねふうけつ  
**荒船風穴**



- 場所 / 下仁田町大字南野牧甲10690-1外
- 交通 / 上信電鉄下仁田駅からタクシー約30分  
上信越自動車道下仁田ICから約50分+徒歩15分
- 見学 / 冬季(12月~3月)は閉鎖。風穴内部は立入禁止。
- 料金 / 平成27年5月1日から500円
- 問 / 下仁田町歴史館 TEL 0274-82-5345

明治38年(1905)から大正3年(1914)に造られた、岩の隙間から吹き出す冷風を利用した蚕種(蚕の卵)の貯蔵施設で、取引先は全国40道府県に及びました。3基の風穴があり、貯蔵能力は国内最大規模で、現在でも石積みの中から天然の冷風が吹き出しています。



## 45 下仁田町重要文化財【養蚕】

しゅんじゅうかんぶんしよ  
**春秋館文書**



- 場所 / 下仁田町大字下小坂71-1(下仁田町歴史館)
- 交通 / 上信電鉄下仁田駅から徒歩約20分  
上信越自動車道下仁田ICから車約10分
- 見学 / 展示資料以外の現物は非公開。非公開資料は電子画像による閲覧可(要予約)。  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始
- 料金 / 200円(高校生以下無料)
- 問 / 下仁田町歴史館 TEL 0274-82-5345

世界遺産「荒船風穴」を経営した「春秋館」に残された1081点の文書群です。全国各地からの蚕種貯蔵の委託の状況や、当時の経営状況、運営形態を伝える帳簿や営業案内が、下仁田町歴史館に収蔵されています。



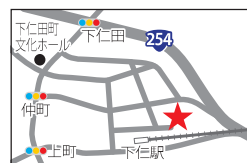
## 46 【流通】

きゅうこうずけてつどうかんれんしせつ しもにたそうこ  
**旧上野鉄道関連施設 下仁田倉庫**



- 場所 / 下仁田町下仁田430-1
- 交通 / 上信電鉄下仁田駅から徒歩約1分  
上信越自動車道下仁田ICから約10分
- 見学 / 外観のみ見学可。敷地内は立入禁止。
- 問 / 下仁田町歴史館 TEL 0274-82-5345

近隣産物の集散地である下仁田駅に隣接して、大正10年(1921)と15年(1926)に建てられた2棟のレンガ倉庫です。倉庫を経営した会社は、繭商人が農家から買い取った繭を保管したほか、繭乾燥業や金銭貸付業も営んでいました。



47

高崎市重要文化財【流通】

やわはちまんぐうからかねとうろう  
八幡八幡宮唐銅燈籠



総高5.01mある一対の青銅製の燈籠で、八幡八幡宮の大修復事業完遂記念物として、慶應3年(1867)に奉納されました。大願主は高崎出身の糸繭商で横浜で活躍した野沢屋惣兵衛。燈籠には高崎、横浜の糸繭商人や養蚕関係者など寄付者の名が刻まれています。

- 場所 / 高崎市八幡町655-1
- 交通 / JR群馬八幡駅から徒歩約15分  
関越自動車道高崎ICから約25分、  
上信越自動車道吉井ICから約35分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 高崎市文化財保護課 TEL 027-321-1292



48

高崎市史跡【養蚕】

かしわぎざわ こかげひ  
柏木沢の蚕影碑



明治20年(1887)5月に、ひょう(雹)が降り、数十cmも積りました。桑畑は全滅し、蚕に桑を与えられなくなったため、養蚕農家は泣く泣く丘に蚕を埋めました。この碑は蚕神を祀り、蚕を供養するために村人が建てたものです。

- 場所 / 高崎市箕郷町柏木沢1936
- 交通 / JR高崎駅から車約40分  
関越自動車道前橋ICから約30分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 高崎市文化財保護課 TEL 027-321-1292



49

高崎市天然記念物【養蚕】

おおはやしうまみち おお  
大林馬道の大クワ



個人宅の入口にある樹高10mの桑で、樹齢は推定280年余りです。牛馬が荷を運ぶ交通手段であった時代には、各家に一時的に手綱をつなぎとめておく樹木があり、この木も昭和初期まで馬つなぎに活用されていました。

- 場所 / 高崎市中室田町5158
- 交通 / JR高崎駅から車約40分  
関越自動車道前橋ICから約50分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 高崎市文化財保護課 TEL 027-321-1292



50

【教育・研究】

ぐんまけんりつにつぼんきぬ さと  
群馬県立日本絹の里



群馬県の伝統産業である養蚕・製糸・織物の歴史と天然繊維である絹の素晴らしさを紹介する拠点施設です。絹にまつわる様々な企画展示のほか染色・織り・まゆクラフトなどの体験学習も行っています。

- 場所 / 高崎市金古町888-1
- 交通 / JR高崎駅からバス約30分+徒歩20分  
関越自動車道前橋ICから約20分
- 見学 / 休館日:火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始  
※臨時休館あり
- 料金 / 一般200円 大・高生100円、企画展開催時は別料金
- 問 / 群馬県立日本絹の里 TEL 027-360-6300



51

国重要文化財【養蚕】

きゆうくろさわけじゅうたく  
旧黒澤家住宅



幕府の天領だった上野郷(上野村)の大総代を務めた旧家。建物は切妻造り、栗板葺き石置屋根で、19世紀中頃の建築と考えられています。1階には13部屋ありますが、2階は仕切りのない広い板の間で養蚕のために使われていました。

- 場所 / 上野村榎原200-9
- 交通 / 上信越自動車道下仁田ICから約30分
- 見学 / 休館日:水曜、年末年始
- 料金 / 大人300円、小中学生100円
- 問 / 上野村教育委員会 TEL 0274-59-2657



52

【養蚕】

いわさきたけまつおきな こうとくひ  
岩崎竹松翁の功德碑



岩崎竹松は、製糸法や養蚕法を学び、内閣勸業博覧会で受賞するなど、蚕業技術の向上に貢献しました。また、高山社を設立した高山長五郎も竹松を訪ねており、共に研究を行っていました。功德碑は竹松の没後10年が過ぎた明治42年(1909)11月に子弟により建てられました。

- 場所 / 神流町大字魚尾1665-1
- 交通 / 関越自動車道本庄児玉ICから約1時間15分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 神流町教育委員会 TEL 0274-57-2111



53

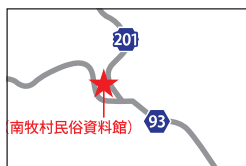
国登録有形民俗文化財 **【養蚕】**

なんもく ようさん そうし はたおりようぐ  
**南牧の養蚕・繰糸・機織用具**



南牧村の養蚕は江戸時代から行われており、明治40年代には村の農業経営の中心となりました。繭の出荷だけでなく、繭から糸を挽き、農閑期には機を織っていました。当時の養蚕・繰糸・機織に関する用具329点が南牧村民俗資料館に収集・展示されています。

- 場所 / 甘楽郡南牧村大字羽沢93
- 交通 / 上信電鉄下仁田駅から南牧バス約35分  
上信越自動車道下仁田ICから約30分
- 見学 / 休館日：月曜、火曜、祝日、年末年始
- 問 / 南牧村民俗資料館 TEL 0274-87-2417



56

**【養蚕】**

かんらまち ようさん せいし おりものしりょう  
**甘楽町の養蚕・製糸・織物資料**



大正初期には約7割の世帯が養蚕農家だった甘楽町で使用された養蚕・製糸・織物に関する道具や資料330点です。養蚕農家で使用されていた道具のほか世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の4資産と関連する資料もあり、甘楽町歴史民俗資料館に収集・展示されています。

- 場所 / 甘楽町大字小幡852-1 (甘楽町歴史民俗資料館)
- 交通 / 上信電鉄上州福島駅から車約5分  
上信越自動車道富岡ICから約10分
- 見学 / 休館日：月曜日、年末年始
- 料金 / 高校生以上200円
- 問 / 甘楽町歴史民俗資料館 TEL 0274-74-5957



54

甘楽町重要文化財 **【製糸】**

きゅうおばたぐみせいし づく そうこ  
**旧小幡組製糸レンガ造り倉庫**



養蚕農家が各家で生産した生糸を、作業場に集め品質をそろえて共同販売するのが組合製糸です。この地区では甘楽社小幡組が組織され、この倉庫は、繭や生糸を保管するために大正15年(1926)に建てられました。

- 場所 / 甘楽町大字小幡852-1 (甘楽町歴史民俗資料館)
- 交通 / 上信電鉄上州福島駅から車約5分  
上信越自動車道富岡ICから約10分
- 見学 / 休館日：月曜日、年末年始 外観は随時見学可
- 料金 / 大人200円、中学生以下無料
- 問 / 甘楽町歴史民俗資料館 TEL 0274-74-5957



57

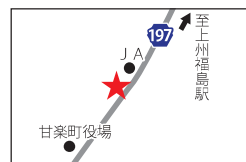
**【製糸】**

かんらしやおばたぐみゆらいひ  
**甘楽社小幡組由来碑**



明治11年(1878)組合制による生糸揚返し場を作り、小幡精糸会社としてスタートした甘楽社小幡組の歴史と発展を伝えるため、大正6年(1917)3月に同組合敷地内に建てられた由来碑です。昭和53年(1978)に現在地へ移設されました。

- 場所 / 甘楽町福島1761
- 交通 / 上信電鉄上州福島駅から車約3分  
上信越自動車道富岡ICから約10分
- 見学 / 随時見学可
- 問 / 甘楽町社会教育課文化財保護係  
TEL 0274-74-3131



55

甘楽町重要文化財 **【製糸】**

とみおかせいしじょうえま  
**富岡製糸場絵馬**



富岡製糸場建設に携わった葦塚直次郎が、富岡製糸場の完成を記念して明治8年(1875)に甘楽町の笹森稲荷神社に奉納した絵馬です。富岡製糸場の全体を描いた鳥瞰図で、完成間もない富岡製糸場の様子を伺い知ることができます。甘楽町歴史民俗資料館に展示されています。

- 場所 / 甘楽町大字小幡852-1 (甘楽町歴史民俗資料館)
- 交通 / 上信電鉄上州福島駅から車約5分  
上信越自動車道富岡ICから約10分
- 見学 / 休館日：月曜日、年末年始
- 料金 / 大人200円、中学生以下無料
- 問 / 甘楽町歴史民俗資料館 TEL 0274-74-5957



**養蚕**

～蚕を育て繭をつくる～

農家が蚕が食べる桑を育て、蚕を飼って、その繭を出荷する仕事が「養蚕」です。



繭と生糸



**製糸**

～繭から生糸をつくる～

養蚕農家から購入した繭を煮て、数本の繭の糸を合わせて目的の太さの生糸をつくる仕事が「製糸」です。

**織物**

～生糸を布に織る～

生糸を染めたり、撚りをかけたあと布に織りあげるのが「織物」です。絹の織物はしなやかで強く美しい光沢があり、風合いや保温性などに優れています。

